

【NEWS RELEASE】

2020年3月27日

各位

株式会社三井住友銀行

日本パレットレンタル株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本パレットレンタル株式会社（代表取締役社長：加納 尚美）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の日本パレットレンタル株式会社に対する評価結果は、「環境配慮型製品・サービスにおける取組」、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」、「従業員への配慮」において高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲をお持ちであるとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

パレットの共同利用や共同回収事業による環境負荷削減に加え、異業種連携による共同幹線輸送の取組等により、物流におけるCO2排出量の削減に貢献。また、破損したレンタルパレットも補修する等して最大限に利用し、使用できなくなったプラスチック製パレットは全量リサイクルしておられる点

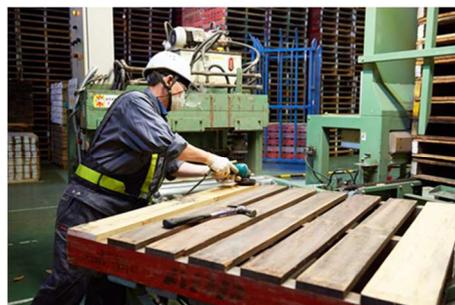
事業活動を通じた社会的課題解決の取組として、フードバンクであるセカンドハーベストジャパンに食品製造業者やレストラン等が食品を提供する際、レンタルパレットを無償で提供し、効率的な作業を支援しておられる点

従業員の柔軟な働き方の実現に向けて、2017年度から「Smart Work Movement」を掲げ、子どもが小学1年生になるまで時短勤務を可能とすることや、有給休暇取得を奨励するポジティブ・オフ運動等を展開。また、従業員の労働安全や休暇の取得状況等に関するデータを子会社も含めて全社で把握しておられる点

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



さまざまな商品を運ぶパレット



木製パレットの補修

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。